

## 商品マスター提供手順

### (1) 商品マスター提供システム

#### 共通センター型システム

小売・卸・メーカーがそれぞれ一度の処理にて必要とされる登録と抽出が可能となる形と思われます。しかし、各企業の単品数は膨大であり当初の設備投資と運用において支障が予測されます。

よって、下記の要件でシステム化を目指すものとします。

#### 分散型システム

卸・メーカーがWWW( World Wide Web )による、W e b / F T P( File Transport Protocol ) サーバーの提供システムをもち、小売・卸( WWWブラウザ )からの要求に基づいて別項の商品マスターフォーマットで返します。

卸・メーカーでのシステム構成は上記以外は自由とします。

メーカーは直接取引のない小売への提供は出来ないため、卸も同様のシステムを持つ必要があります。将来、卸・メーカーで同じ商品マスターを持つ非効率が問題となったときなど分散型システムによる運用が困難になった場合には上記共通センター型システムを検討するものとします。

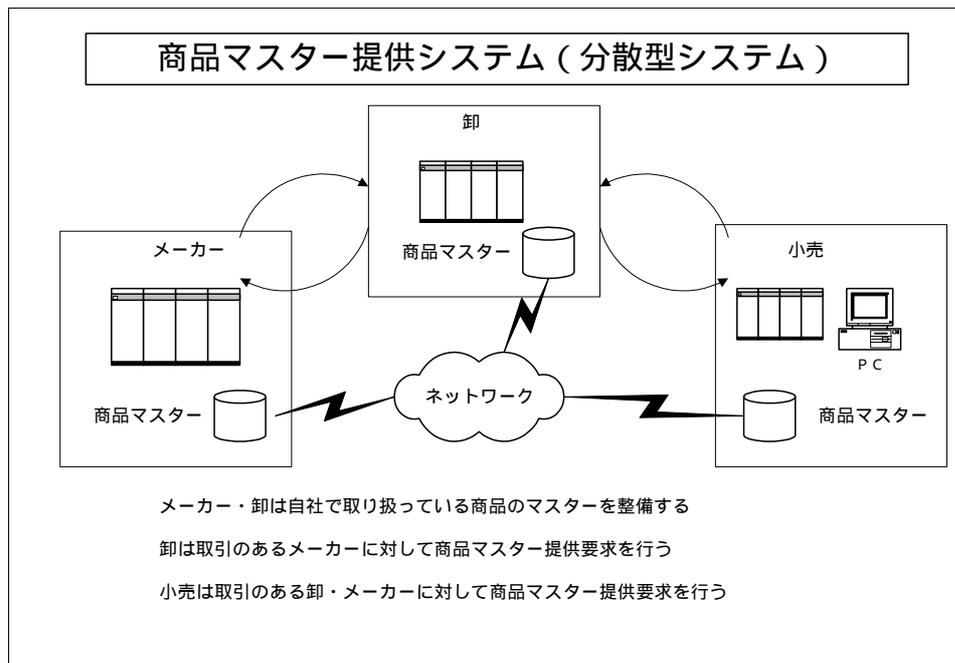


図 6- 分散型システム <sup>注1</sup>

コメント [ゴールド1]:

### (2) 商品マスター提供手順

注1 スポーツ用品業界オープン情報ネットワーク調査研究報告書(平成10年3月)より抜粋

将来像

インターネットを利用した提供依頼とデータ提供が考えられます。

提供元（卸・メーカー）が、Web / FTPサーバーの提供システムをもち、依頼元（小売・卸）からの要求に基づいてデータを画面もしくは、他の方法で依頼元に返します。

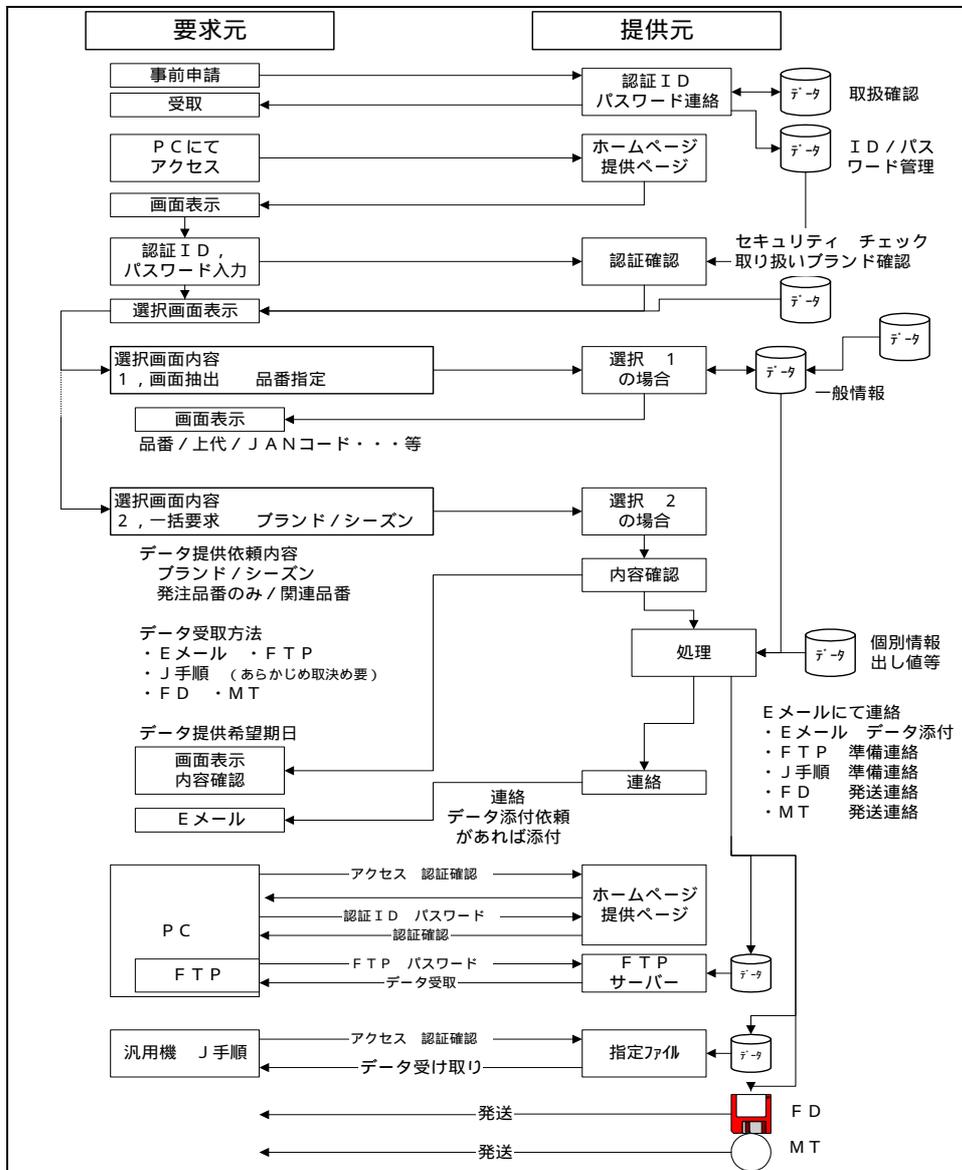


図6-2 商品マスター提供手順 将来像



#### 商品マスター提供手順（当面）

前述の課題にあるようにインターネットを利用してのシステム構築には時間が必要となります。

当面は提供依頼を紙ベースで実施することが望ましいと考えられます。

#### （ a ）書面での依頼

商品マスター提供依頼書 別紙 49ページを使用します。

#### （ b ）依頼順序

依頼元企業より提供元担当部署（営業部署）に F A X / 郵送もしくは、Eメールにて依頼します。

提供元担当部署とデータ作成部署が同一の場合は別ですが、それ以外では社内規則に従いデータ作成部署にてデータの作成を行います。

（セレクト条件等、抽出に制約がある場合にはデータ作成部署では判断できない為）

#### （ c ）データ提供順序

提供元担当営業部署もしくはデータ作成部署より、依頼元受取部署に受取方法に応じてデータ提供を行うこととします。

#### （ d ）注意事項

各々の企業で対応ができない場合があります。

下記に一例をあげてみます。

##### a) データフォーマット

- ・企業によっては、S研商品マスターデータPC版に対応できない場合。
- ・データ種類の3, その他として、S研商品マスターデータをテキスト固定長に変換し提供可能な企業もあります。

##### b) 受取方法

- ・提供元企業でEメール添付が不可の場合。
- ・提供元企業でMT対応が不可の場合。

##### c) 抽出条件

- ・依頼元企業の抽出依頼内容に対応できない場合。

##### d) セレクト条件

- ・例としては、受注会での発注品番という形であげられますが、ここでは拘束はしないで、各企業間にて取り決めるものとします。

##### e) その他

上記の場合、もしくは、これ以外の課題/懸案事項については、依頼元企業/提供元企業双方での協議の上、進めていくこととします。

NO. \_\_\_\_\_.

商品マスター提供依頼書			
依頼企業名		提供企業名	
担当部署		担当営業部署	
担当者名		担当者名	
TEL	( ) -	TEL	( ) -
FAX	( ) -	FAX	( ) -
		(統括部署)	
依頼年月日		受付年月日	
受取希望日		提供年月日	
受取部署		データ作成部署	
受取者名		作成者名	
Eメールアドレス		Eメールアドレス	
TEL	( ) -	TEL	( ) -
FAX	( ) -	FAX	( ) -
基本様式			
データフォーマット	1. S研商品マスターデータ (固定長) 2. S研商品マスターデータPC版 (CSV) 3. その他( )		
受取方法	1. J手順 2. Eメール添付 3. FD ( ) 4. MT ( ) 5. その他( )		
抽出条件			
モデル年度	年度	仕入れ値(提供元出し値)	YES, NO
シーズン	1. 全部 2. 春夏物 3. 秋冬物 4. スキー物 5. 他( )		
メーカー・ブランド			
メーカー	ブランド		セレクト条件
備考			

### データ受け渡し

紙ベースでの提供依頼をうけ、下記のようなデータの受け渡し方法が当面考えられます。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ( a ) J 手順            | データ電送             |
| ( b ) Eメール添付          | Eメールに商品マスターデータを添付 |
| ( c ) F D (フロッピーディスク) | 媒体使用              |
| ( d ) M T (磁気テープ)     | 媒体使用              |

### J 手順

#### ( a ) 制御電文取決め

- ・センターコード      6桁    要求元コード
- ・取引先コード        8桁    提供元コード
- ・識別子                6桁    各企業間でとり決めます
- ・データ種類          2桁    60固定
- ・TEL 番号             接続先

#### ( b ) データフォーマット    S研商品マスターデータ

#### ( c ) フォーマット内容    56ページ参照して下さい

#### ( d ) 流れ図

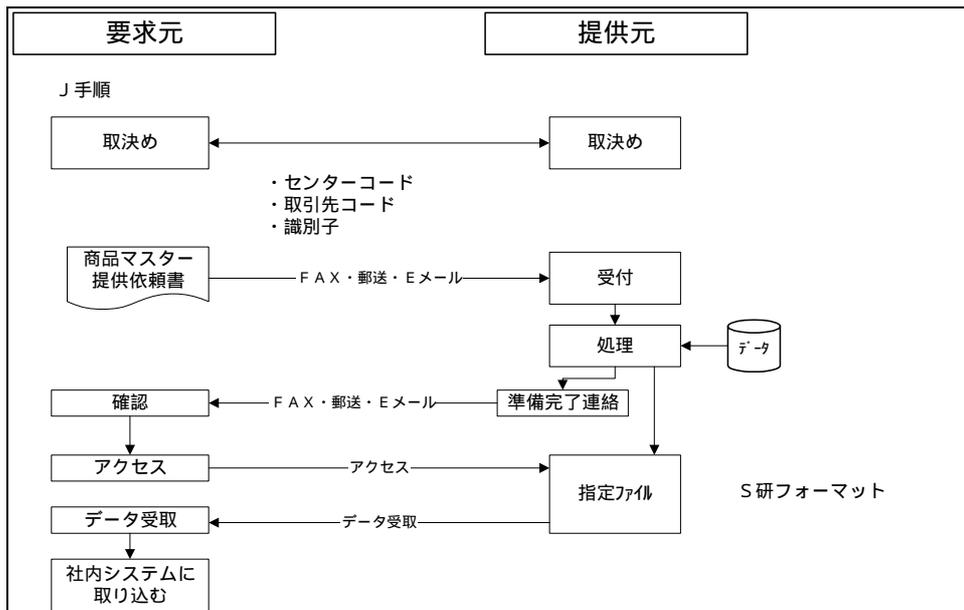


図 6 - 3 J 手順での商品マスター提供手順

電子メール（Eメール）添付

- (a) データフォーマット S研商品マスターデータPC版
- (b) フォーマット内容 72ページ参照して下さい
- (c) データ圧縮 自己解凍型に圧縮（使用ソフトウェアは任意）  
メールシステムへの負荷軽減の為、データを圧縮します。

(d) 流れ図

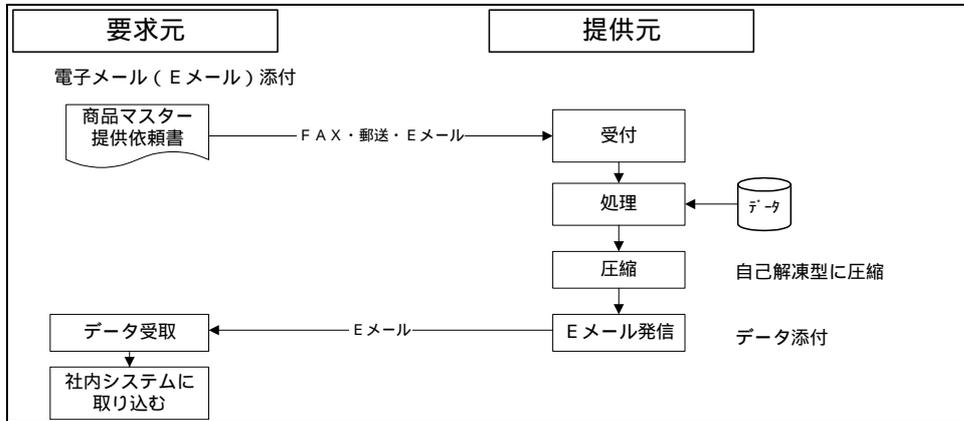


図6 - 4 電子メール添付での商品マスター提供手順

FD（フロッピーディスク）

- (a) データフォーマット S研商品マスターデータ  
S研商品マスターデータPC版
- (b) フォーマット内容 S研商品マスターデータ 56ページ参照  
S研商品マスターデータPC版 72ページ参照
- (c) データの受け渡しをFDにて行います。
- (d) 流れ図 次ページ 図6 - 5 媒体使用での商品マスター提供手順を参照して下さい。

MT（磁気テープ）

- (a) データフォーマット S研商品マスターデータ
- (b) フォーマット内容 56ページ参照して下さい
- (c) データの受け渡しをMTにて行います。
- (d) 流れ図 次ページ 図6 - 5 媒体使用での商品マスター提供手順を参照して下さい。

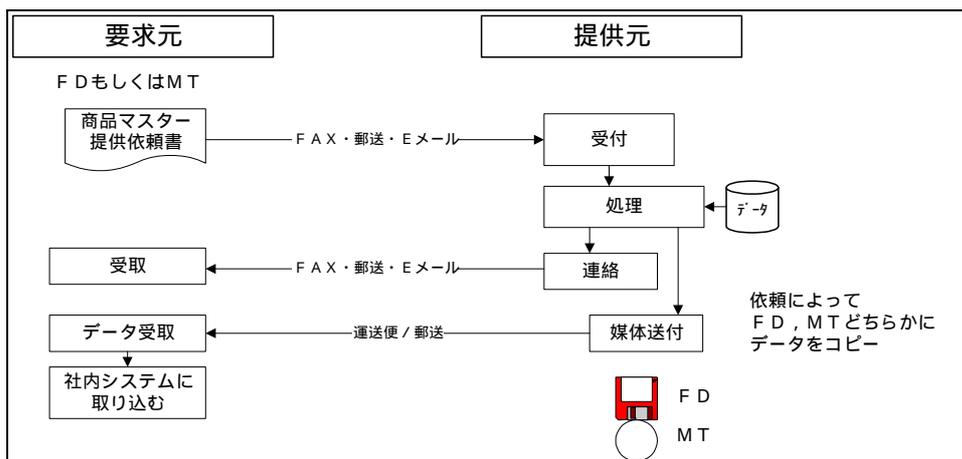


図6 - 5 媒体使用での商品マスター提供手順

#### 障害対応

##### ( a ) 電子メール未着信

###### ・ J 手順

連絡の電子メールが未着信の場合、J 手順では依頼元よりのアクセスがありませんので、提供元より依頼元に再度連絡をします。

###### ・ 電子メール添付

電子メール添付の場合は提供元では依頼元への着信が確認出来ない為、依頼元に届いていない場合も考えられます。

このような場合を想定し、依頼元と提供元で対応策を取り決めておく必要があります。

###### ・ 媒体使用

媒体使用の場合は連絡メールが未着信でも媒体が発送されますので媒体到着でデータ提供となります。

##### ( b ) 読み出し不能

データ電送、もしくは、媒体送付したものが、読み出し不能の場合には、依頼企業の受取部署より提供企業のデータ作成部署に連絡、協議の上、対応を図ることとします。